

【NEWS RELEASE】

2023年9月29日

各 位

株式会社三井住友フィナンシャルグループ

「SMBC グループ TCFD レポート 2023」の発行について

株式会社三井住友フィナンシャルグループ（執行役社長グループ CEO：太田 純、以下、当社グループを総称して「SMBC グループ」）は、「SMBC グループ TCFD レポート 2023」（以下、本レポート）を発行いたします。

SMBC グループは、2017年12月に気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）への賛同を表明して以降、積極的な気候変動対応を実施しております。2019年には、グローバル金融機関として初めて気候変動リスクの財務的影響を試算・開示したほか、2022年には電力、エネルギーセクターにおけるポートフォリオ温室効果ガス（Greenhouse Gas/GHG）排出量の削減目標を公表し、取組を加速させています。

本レポートには、直近1年間のSMBC グループの取組内容を新たに記載しております。追加する開示事項のポイントは以下の通りです。

1. ガバナンス

SMBC グループは、2022年度より役員報酬制度に定量的なESG評価項目を導入しており、2023年4月には中期業績連動型報酬に環境に関するESG定量指標（ポートフォリオGHG排出量削減・サステナブルファイナンス実行額）や、環境等のSMBCグループが設定する重点課題に関する取組への定性評価を新たに組み入れました。

そして、サステナビリティ経営体制の透明性を高めるべく、サステナビリティ委員会メンバー並びにグループCSu0の専門性にかかる開示を進めるとともに、経営態勢の高度化に向け2023年3月に新グローバル・アドバイザーとして国連グローバル・コンパクト副議長で元ユニリーバCEOのポール・ポールマン氏が就任しました。

2. 戦略

SMBCグループは、トランジション・技術革新の支援に向けたTransition Finance Playbookや、一般炭採掘にかかるフェーズアウト戦略などを新たに策定いたしました。また、脱炭素社会の実現並びに気候変動対策を通じた企業価値向上を目指し、SMBCグループの一連の目標と行動を体系化した移行計画を策定しています。ポートフォリオGHG排出量削減や脱炭素化ビジネス、エンゲージメント等をはじめとした、新たな中期経営計画期間（2023～2025年度）における各戦略の具体的な取組方針について、本レポートに記載しています。

3. リスク管理

SMBC グループは、グループ全体のリスク管理に関する枠組みである「リスクアペタイト・フレームワーク」の中で気候関連リスクを管理する枠組みを導入いたしました。ポートフォリオ GHG 排出量削減目標の達成に向け GHG 排出量・炭素強度等をセクター・部門別に管理してまいります。

また移行リスクが高いと考えられるセクターに関しては、更に個社別移行戦略の確認フレームワークも導入いたします。各債務者における移行リスクへの対応状況を確認すると共に、評価に応じたリスクコントロール枠組みを構築してまいります。

4. 指標・目標

SMBC グループでは、サステナブルファイナンス取組額にかかる 2030 年目標の上方修正（30 兆円⇒50 兆円）、自社 GHG 排出量削減にかかる中間目標設定などを進めると共に、新たに石炭採掘にかかるフェーズアウト戦略を設定いたしました。

また、ポートフォリオ GHG 排出量に関し、本年 5 月に公表した鉄鋼・自動車セクターに加え、本レポートでは不動産セクターについても試算状況・算定方針を記載しております。そして、SMBC 日興証券においても引受業務に関して、電力・石油ガスセクターを対象とした排出量の試算を行っております。

SMBC グループは、お客さまをはじめとするステークホルダーとの対話を重ね、共に行動することにより、サステナビリティの実現に積極的に貢献し、開示の拡充に努めてまいります。

(URL)

https://www.smfg.co.jp/sustainability/materiality/environment/climate/pdf/tcfdrpt_j_2023.pdf

以 上